

平成28年度

事業報告書

社会福祉法人船橋市社会福祉協議会

## 事 業 報 告

船橋市社会福祉協議会（以下、「市社協」という。）は、地域の皆様が安心して暮らしていけるよう、住民相互のつながりや支え合いによる福祉のまちづくりに向け、各事業を進めております。

今年度、平成 28 年度からスタートいたしました『第 3 次船橋市地域福祉活動計画』に基づき、共助（互助）の視点から、地域で実践的・具体的な活動に取り組んでまいりました。

既に、第 1 次・第 2 次船橋市地域福祉活動計画の中で、地域において住民や各団体の関係づくりの視点から、「安心登録カード事業」やいわゆる「地域福祉関連団体連絡協議会」など、全国的にも例を見ない取り組みを実施することで、行政の枠では実施することが難しい、福祉を推進する民間団体としての役割を果たしてまいりました。

そして今年度は、地域包括ケアシステムの構築やボランティアの発掘・育成、生活困窮者自立支援の充実などに向けて、取り組みました。

具体的には、昨年度から実施しておりました生活支援体制整備事業として、生活支援コーディネーターの配置を、昨年度の 5 地区から、市の計画よりも 4 地区前倒して 15 地区に拡大いたしました。これに伴い、地区社会福祉協議会の登録ボランティアも 64 人増加しました。今後もスピード感をもって、取り組んでまいります。

また、生活困窮者自立支援事業についても、今年度から就労準備支援事業の一部をスタートいたしました。平成 29 年度からは住居確保給付事業を実施できるよう準備を進めました。また、自主事業である福祉銀行の貸付や、千葉県社会福祉協議会の事業である生活福祉資金の貸付事業を受託し、生活困窮者への支援を行ってまいりました。

また、安心登録カード事業につきましては、地域における日頃からの関係づくりの視点から、従来どおり幅広く活動をいたしました。

市社協の運営基盤強化を図るため、会費（賛助・特別・団体・法人）の増強や、収益事業である自動販売機事業や馬込斎場売店の運営に努めました。

さらに、高齢者等の日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）を実施するとともに、法人後見や成年後見制度利用支援事業の実施を視野に、居住支援協議会の設立準備やその周辺業務の実施検討も進めてまいりました。

また、指定管理者として、中央と南の老人福祉センターの管理運営を行い、社会福祉法人として社会福祉事業の確実な実施に努めました。

また、高齢者や障害者の移動支援のため、一般貸切旅客自動車借上利用事業など、各種受託又は補助事業を実施いたしました。

以上のように、地域福祉活動計画を推進すべく、地域福祉活動の推進に努めました。一時期苦しかった経営も回復の兆しがあることから、更なる経営改善に努めてまいります。

重点事項	施策の内容	成果
1) 社会福祉協議会の基盤強化及び自主財源の確保	(1)個人会員・賛助会員等の増を図る	<p>会員増強のため、「ふなばし福祉」にPR記事を掲載するとともに、町会・自治会長宛に賛助会員の協力依頼を行った。</p> <p>また、特別・団体・法人会員についても協力依頼を行ったが、会費総額は、前年度より減額となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・賛助会員 24,567,660 円</li> <li>・特別会員 545,300 円</li> <li>・団体会員 1,037,000 円</li> <li>・法人会員 1,295,000 円</li> </ul> <p>合計 27,444,960 円</p> <p>※前年度より 426,307 円減</p>
	(2)収益事業の継続運営	<p>馬込斎場売店運営については従来と形態が変わってきている(家族葬の増)、売店運営にも影響していることから、人員を削減し対応を図った。</p> <p>自動販売機(飲料水)については、工事現場に設置していた2台の撤去があったことから設置台数が減となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動販売機設置台数 70台</li> </ul>
	(3)自主事業による財源確保	<p>入れ歯回収ボックスを市役所や老人福祉センター、地区社協に設置し、財源確保に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入れ歯回収ボックス設置 29か所(市役所・各地区社協など)</li> <li>・回収個数 311個</li> <li>・還元金 49,076円</li> </ul>

重点事項	施策の内容	成果
2) 地区社会福祉協議会の充実強化を図るための支援	(1)ミニデイサービス事業の充実 (24地区で実施)	<p>公民館などの公共施設や町会・自治会などを利用し実施され、多くのボランティアの協力により、地域福祉の推進が図られた。</p> <p>・実施回数 624回 ※前年度実施回数605回</p>
	(2)ふれあい・いきいきサロン事業の充実 (24地区実施)	<p>公共施設（公民館等）や町会・自治会館を利用し、高齢者及び障がい者、子供たちが気軽に参加し、世代を越えた仲間づくりの場として実施することにより地域福祉の向上が図られた。</p> <p>・実施回数 589回 ※前年度実施回数667回</p>
	(3)子育てサロン事業の推進 (24地区実施)	<p>地域内で子育てについて情報交換や相談をする場が少ない親子を対象として情報交換や育児相談、母親（親子）同士が交流できる場を提供し、地域福祉の向上が図られた。</p> <p>・実施回数 452回 ※前年度実施回数468回</p>
	(4)ボランティア育成事業の充実 (24地区実施)	<p>新たなボランティア登録者の発掘や、継続したボランティア活動を行うための研修や講座を実施し、ボランティアの確保・育成に努めた。</p> <p>・実施回数 146回 ※前年度実施回数155回</p>
	(5)地区社協広報紙の発行 (24地区で発行)	<p>地区社協では、年間1～6回広報紙を全戸配布し、情報の提供を行った。</p> <p>・発行回数 68回</p>
	(6)地域福祉まつりの充実 (24地区で開催)	<p>多くの参加者を得て各種団体との連携、交流が図られたほか、啓発活動にも努め、福祉への関心を高めることに努めた。</p> <p>・実施回数 34回</p>

重点事項	施策の内容	成果
	(7)福祉相談事業の推進 (24地区で開催)	<p>地域住民の身近にあり、気軽に相談ができる地区社協に福祉相談窓口を地区社協に開設し、地域の福祉機関・団体や行政と連携しながら、福祉相談の解決に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談件数 3,714件</li> <li>介護相談 306件</li> <li>児童相談 278件</li> <li>隣人関係相談 128件</li> <li>家族関係相談 89件</li> <li>医療相談 88件</li> <li>障がい児者相談 73件</li> <li>その他 2,752件</li> </ul>
	(8)自主事業の推進  湊町地区社協  夏見地区社協  高根台地区社協	<p>地域における仲間づくり・生きがいづくりに寄与する事業や住民相互のふれあい・交流などを目的とした事業を下記の地区社協が実施し、地域福祉の推進が図られた。</p> <p>「それいゆ大学」 健康づくりなどを通じた仲間づくりが目的。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数 10回</li> </ul> <p>「ようろうゲーム」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数 19回</li> </ul> <p>「のど自慢大会」 カラオケを楽しみながら異世代間交流が目的。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数 1回</li> </ul> <p>「高齢者演芸大会」 日頃の活動の成果を披露することによる生きがいづくりが目的。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数 1回</li> </ul> <p>「多目的サロン」 健康づくりや生きがいづくりや防災の問題なども組み入れ、住民意識を高めることが目的。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数 91回</li> </ul>

重点事項	施策の内容	成果
	<p>二和地区社協</p> <p>三咲地区社協</p> <p>松が丘地区社協</p> <p>坪井地区社協</p> <p>塚田地区社協</p>	<p>「はつらつ健康教室」 健康体操を通じ、「いつまでも健康ではつらつと過ごせるように」が目的。 ・実施回数 12回</p> <p>「いきいき健康事業」 健康麻雀を通じて脳トレを行うことで、地域内の中高年の健康増進や仲間づくり、生きがいづくり、新たな人材確保が目的。 ・実施回数 26回</p> <p>「街中清掃」 地域内の中学生及びその関係者と一緒にゴミ拾いを行うことにより、生徒と地域住民の交流を図ることが目的。 ・実施回数 1回</p> <p>「グラウンドゴルフ大会」 地域の高齢者が元気で活動でき、交流を図ることが目的。 ・実施回数 1回</p> <p>「親子塾」 若い世代の家族へ社協事業の参加を促す為、小学生の親子を対象とした工作教室などを開催し、互いに支え合う街づくりを目指し、地域の活性化を図ることが目的。 ・実施回数 5回</p> <p>「映画会」 ボランティアの横断的交流を図ることが目的。 ・実施回数 1回</p>

重点事項	施策の内容	成果
	高根・金杉地区社協	<p>「世代間融合クリスマスコンサート」</p> <p>クリスマスイベントを通じて世代間交流が目的。</p> <p>・実施回数 1回</p> <p>「ペタンク大会」</p> <p>軽スポーツを通じての健康づくりが目的。</p> <p>・実施回数 1回</p>
	習志野台地区社協	<p>「ゆる体操」</p> <p>健康体操を通じ「いつまでも健康ではつらつと過ごせるように」が目的。</p> <p>・実施回数 24回</p>
	法典地区社協	<p>「多目的サロン」</p> <p>健康づくりや生きがいづくりの場を通して住民意識を高めることが目的。</p> <p>・実施回数 12回</p>
	宮本地区社協	<p>「カラオケ大会とポッチャゲーム大会」</p> <p>イベントを通して地域住民が一緒に過ごすことで交流を深め、たすけあい活動につなぐことが目的。</p> <p>・実施回数 2回</p>
	前原地区社協	<p>「健康体操」</p> <p>血圧測定や健康体操を行い健康づくりが目的</p> <p>・実施回数 12回</p>
	(9)活動拠点整備事業の推進	<p>下記の地区社協がミニデイサービスや子育てサロンなどの各事業を行うにあたり、市補助金を活用し、安定した会場確保ができ、地域福祉の推進が図れた。</p>

重点事項	施策の内容	成果
	湊町地区社協  高根台地区社協  三咲地区社協  三田習地区社協  二宮・飯山満地区社協  八木が谷地区社協  高根・金杉地区社協  夏見地区社協  塚田地区社協  二和地区社協	『それいゆ』 ・実施回数 59回  『楽し荘』 ・実施回数 323回  町会会館 ・実施回数 15回  市民センター ・実施回数 22回  町会会館 ・実施回数 8回  町会会館 ・実施回数 42回  町会会館 ・実施回数 18回  店舗借上げ ・実施回数 3回  町会会館 ・実施回数 14回  「なごみ」 ・実施回数 66回
	(10) ひとり暮らし高齢者 等地域交流促進事業の推 進	下記の地区社協で市補助金を活用し、ひとり暮らし及び日中一人になる高齢者で引きこもりがちな方や介護保険認定外（自立判定者）の方の地域交流、閉じこもり防止に努めた。



重点事項	施策の内容	成果
	湊町地区社協  海神地区社協  高根・金杉地区社協  高芝地区社協  二和地区社協  前原地区社協	デイ銭湯 実施回数 24回  デイ銭湯 実施回数 7回  移動ミニデイ 実施回数 1回  移動ミニデイ 実施回数 1回  移動ミニデイ 実施回数 1回  移動ミニデイ 実施回数 1回
	(11)地区社協事務局員の充実強化	多様化する福祉ニーズに対応できるようブロックごと等で事務局員の研修を実施するとともに、資質の向上に努めた。
	(12)地区社協の育成及び支援	市社協ホームページを活用し、情報の提供及び共有に努めた。 また、主要5事業の拡充及び自主事業の充実強化に努めた。
3) 地域福祉活動計画の推進	(1)第3次活動計画の推進	第3次活動計画の推進に努めた。
4) 安心登録カード事業の促進	(1)安心登録カード事業の推進	災害時及び緊急時における要援護者の救援・支援を図るため、「安心登録カード事業」について24地区社協全てで実施している。 引続き、町会・自治会や民生児童委員などの関係機関・団体と連携を図り、事業の推進に努める。 ◆安心登録カード事業登録者数 ・登録者数 18,386人 ・内訳 (男:7,091人・女:11,295人) ◆電話等見守り活動(補助金対象以外も含む) ・実施地区社協 16地区 (高齢者福祉課対象2地区含む)

重点事項	施策の内容	成果
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・延見守り回数 20, 557回</li> <li>・延見守り対象者数 6, 507人</li> <li>・延見守り活動者数 436人</li> </ul>
5) ボランティアセンター事業の充実	(1) ボランティアセンターの運営	<p>ボランティアの相談及び登録業務を地区社協等の協力を得て行った。</p> <p>また、専門的なボランティア講座等も開催し、知識や技術の向上に努めるとともに、入門講座も開催し、新たなボランティアの発掘や活動の意識を深めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規ボランティア依頼 285件</li> <li>・ボランティア登録人数 4, 258人</li> </ul> <p>【内訳】 グループ 204 3, 960人 個人 298人</p> <p>◆東日本大震災等被災者支援の災害ボランティア登録数 122人</p> <p>【内訳】 市内 102人 市外 17人 県外 3人</p>
	(2) ボランティア団体との連絡	<p>ボランティア連絡協議会が行う研修会や運営委員会に出席し、連絡調整に努めた。</p> <p>また、各グループの活動に対し、助言及び協力支援に努めた。</p>
	(3) ボランティア研修・講座の開催	<p>研修及び講座等を主催・共催し、ボランティアの心得や知識・技術を身につけるため、研修内容の充実を図り、資質の向上に努めた。</p> <p>また、ボランティア同士の情報交換の場として交流会も開催し、支援に努めた。</p>

重点事項	施策の内容	成果
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生ボランティア養成講座 31人</li> <li>・シニアボランティア研修会 136人</li> <li>・ボランティア交流会 「障がい者と集う」 141人</li> <li>・ふれあい交流会 「社会福祉法人九十九里ホーム視察」 31人</li> <li>・地域に飛び出せ！！ふなばし夏のボランティア体験 263人</li> </ul>
	<p>(4)福祉教育の推進</p> <p>※市社協指定校</p> <p>小学校 54校 中学校 27校 高校 15校</p>	<p>推進指定校としての取り組みでは、学校での体験学習に対する車椅子及び高齢者疑似体験に伴う指導や用具の貸出しに努めるとともに、職員及びボランティアを派遣し、体験学習の支援に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車椅子及び高齢者疑似体験等実施校</li> </ul> <p>小学校 23校（総数29回） 対象児童数 3,278人 協力ボランティア数 293人</p> <p>中学校 3校（総数3回） 対象生徒数 410人 協力ボランティア数 14人</p>
	<p>(5)福祉用具等の貸し出し</p>	<p>車椅子の必要な方や地域福祉まつり、ボランティア入門講座や研修会、学校の体験学習などに貸出しを行い、福祉の推進に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車椅子体験貸出件数 34件：340台</li> <li>・高齢者疑似体験用具貸出件数 20件：178箱</li> <li>・アイマスクの貸出件数 16件：700個</li> <li>・点字板の貸出件数 10件：274枚</li> <li>・白杖貸出件数 16件：320本</li> <li>・車椅子貸出件数 62件：62台</li> </ul>

重点事項	施策の内容	成果
6) 災害時ボランティア活動等の検討	(1) 災害時ボランティア活動等の検討	<p>災害ボランティアセンター立ち上げ訓練をすることで、関係機関・団体と情報の共有を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・立ち上げ訓練の実施</li> </ul> <p>開催日：H28年9月3日(土) 場 所：船橋市総合教育センター・視聴覚センター 参加者数：82人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シェイクアウト訓練の実施</li> </ul> <p>開催日：H28年8月29日 参加者数：18人</p>
7) ふなばし高齢者等権利擁護センター事業の推進	<p>(1) 市民に対する制度の周知徹底と利用促進</p> <p>※主な相談内容（相続・成年後見、遺言）</p>	<p>判断能力が十分でない高齢者や障がいのある方が自立した地域生活を送れるよう、生活支援員（17人）の協力及び関係機関との調整を図り支援に努めた。</p> <p>また、成年後見制度の周知と市民後見人の養成を目的として「初心者のための市民後見人養成講座」を行った。</p> <p>開催日：H29年2月4日・18日 場 所：中央公民館第3・8集会室 修了者：16人 （申込者：17人）</p> <p><b>【権利擁護センター】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・権利擁護相談延件数 109件</li> <li>・全体の契約件数 69件</li> <li>・新規契約件数 19件</li> <li>・解約件数 10件</li> <li>・高齢者法律相談受付件数 34件</li> </ul>
8) 低所得対策事業の促進	(1) 低所得対策事業として、福祉銀行・生活福祉資金の貸付	<p>福祉銀行の貸付及び償還については、生活支援課との連携強化に努めた。また、滞納者については督促状を送り、償還率アップに努めた。</p>

重点事項	施策の内容	成果
		<p>また、生活福祉資金については、難しいケースへの貸付では、民生児童委員と連携を図るとともに償還指導についても民生児童委員の協力を得、強化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉銀行貸付 <ul style="list-style-type: none"> <li>相談件数 4,085件</li> <li>金銭交付 83件</li> <li>25,970円</li> <li>貸付金 1,018件</li> <li>11,545,540円</li> <li>償還金 1,161件</li> <li>11,692,740円</li> </ul> </li> <li>・生活福祉資金貸付 <ul style="list-style-type: none"> <li>相談件数 2,158件</li> <li>教育支援資金 93件</li> <li>117,350,000円</li> <li>福祉資金福祉費 36件</li> <li>11,059,200円</li> <li>緊急小口資金 46件</li> <li>4,254,400円</li> <li>総合支援資金 0件</li> <li>0円</li> <li>臨時特例つなぎ資金 0件</li> <li>0円</li> <li>不動産担保型生活資金 1件</li> <li>10,182,900円</li> <li>要保護世帯向け不動産担保型生活資金 1件</li> <li>4,760,000円</li> <li>生活復興支援資金 0件</li> <li>0円</li> </ul> </li> </ul> <p>※生活福祉資金の償還は県社協が事務処理</p>
9) 老人福祉センター管理運営の推進	(1) 老人福祉センターの運営充実	<p>老人福祉センターを利用することにより、高齢者の生きがい健康づくり及び教養の向上が図られるよう各種相談活動やサークル活動、クラブ活動などの促進に努めた。</p>

重点事項	施策の内容	成果
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央老人福祉センター 利用者累計（５８，４９８人） １日平均利用者数（１９６人）</li> <li>・南老人福祉センター 利用者累計（５９，４７１人） １日平均利用者数（２０４人）</li> </ul>
<p>10) 高齢者・障がい者などの地域生活の支援</p>	<p>(1)在宅福祉サービス事業の促進</p>	<p>高齢者や障がい者の方々の通院、施設への入所、ミニデイサービス事業への送迎に貸出を行い、在宅福祉の向上が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リフトカー貸出延利用者数 24人</li> </ul> <p>在宅福祉の一環として家事援助活動が多くボランティアの協力によって実施された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民参加型在宅福祉活動（たすけあいの会） (実践把握団体数 36団体)</li> </ul> <p>地域住民同士が交流を図るとともに、ボランティア活動を通じて生活困窮者の自立支援や精神に障がいのある人の在宅生活の自立訓練にも活用されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お休み処第1号 「ホッとこころ咲が丘」 来場者 延2,850人 1日平均 13人 ボランティア数 18人</li> <li>・お休み処第3号 「ほっとスクエア夏見」 来場者 延4,498人 1日平均 19人 ボランティア数 23人</li> </ul>

重点事項	施策の内容	成果
	(2)地域包括ケアシステムの構築	<p>高齢者になっても住み慣れた地域で安心して暮らせることを目指し、地域での支え合いの体制を構築し、生活支援サービスを促進するため、生活支援コーディネーターを各地区社協に配置した。</p> <p>・配置地区社協 15地区</p>
	(3)生活困窮者自立支援事業（就労準備支援・ボランティア関係）	<p>生活困窮者自立支援事業利用者の社会的自立のプログラムとして地区社協事業などでのボランティア活動を活用した。</p> <p>・ボランティア活動延利用者数 31人</p>
1 1) 福祉情報の提供	(1)ふなばし福祉の充実	<p>広報紙を全戸配布することにより地域住民に福祉に対する理解が得られるよう年3回発行し、情報提供に努めた。</p> <p>・発行号数 87号から89号 発行部数 596,000部</p> <p>・インターネットを活用した情報提供に努めた。</p> <p>・ホームページの活用 アクセス件数 36,000件</p>
1 2) 市受託事業の効率的運営とサービスの向上	(1)福祉リフトカーの運行促進	<p>障がい者やねたきり高齢者の通院など、2台のリフトカーにより利用者のサービスに努めた。</p> <p>・運行延回数 283回 ・利用者延数 147人</p>
	(2)老人クラブ自動車支援事業の促進（福祉バスの運行）	<p>年間を通して多くの老人クラブに利用されており、特に安全運行に注意をし、老人クラブ会員の研修及び親睦のための支援に努めた。</p> <p>・運行回数 延 140回 ・利用者 延 4,623人</p>

重点事項	施策の内容	成果
13) 次代を担う青少年の健全育成事業の支援	(1) 市内青少年の健全育成及び非行防止	<p>当会が設置する子どもの遊び場の点検を行い、事故防止に努めた。また、青少年の健全育成を図るため、少年少女団体連絡協議会や青少年関係団体等との連携を図り、事業に対する助成及び団体の育成に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの遊び場 11ヶ所</li> <li>・おもちゃの図書館の運営 東図書館 利用者延 171人 西図書館 利用者延 42人</li> </ul>
14) 社会福祉協議会の運営・事業の透明化	(1) 情報の開示	<p>事務関係資料の整理整頓に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開示件数 0件</li> </ul>
	(2) 個人情報の安全管理	<p>保有する個人情報の適正な管理を行い、安全確保に努めた</p>
15) 福祉サービス利用者保護のための体制整備	(1) 福祉サービスに対する苦情解決	<p>市民からの苦情に速やかな対応を図るため、第三者委員会を設置している。要望や苦情に対しては、速やかな対応に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情・要望件数 2件</li> <li>・第三者委員会の開催 0回</li> </ul>
16) 社会福祉事業振興貸付事業の促進	(1) 高齢者、障害者施設及び保育施設の整備支援	<p>社会福祉事業振興資金は、施設の新設や増改築費として活用され、社会福祉法人や施設利用者にとっての利便が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・16年度～27年度までの貸付件数 11件</li> <li>・28年度 1件</li> </ul>



重点事項	施策の内容	成果
17) 共同募金事業の推進	(1) 共同募金会船橋市支会事業の実施及び地域配分の効果的活用	<p>民間社会福祉事業を支援する役割があることから、市民に信頼と理解を得るため、広報紙でのPR及び街頭募金の実施に努めた。</p> <p>なお、「支え合いといたわり合いの地域づくり」を目指し、効果的な活用を努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配分額 17,077,000円</li> </ul> <p>※前年比1,000,000円増</p>
	(2) 歳末たすけあい募金の適正配分	<p>配分委員会により適正配分を図ることにより、要保護世帯などに対し、福祉の増進に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配分額 21,605,205円</li> </ul> <p>※前年比586,892円減</p>
18) その他の事業	(1) 「一般貸切旅客自動車借上バス」の運行	<p>多くの福祉関係団体等が視察研修ができるよう利用促進及び安全運転に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運行回数 113回 (内リフト付きバス6回)</li> <li>・利用者 延4,303人</li> </ul>
	(2) 老人クラブ自動車支援事業の促進(バス借上げ料補助)	<p>老人クラブ会員の研修などのためのバス借上げ支援に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運行回数 50回</li> <li>・利用者 延1,421人</li> </ul>
	(3) 各種団体との連携強化	<p>各種団体及び福祉施設との連携強化により、地域福祉の推進が図られた。</p>